

令和7年 成人の日記念行事 20歳の旅立ち



令和7年1月13日、冬晴れのもと、大森中学校体育館において、令和7年大森中学校区成人の日記念行事が開催された。開始前の大森門付近には、華やかな振袖やスリップ姿の新成人が集い、保護者とともに「20」のバルーンなどを持つて記念撮影を楽しむ姿が見られた。

新成人に話を聞くと、「家族のかげで今日を迎えた」と感謝の言葉が多く、また、

国歌斉唱の後、天子田学区の長谷川好嗣区政協力委員長の励ましのことば、守山区長代理の二村俊介地域力推進課長によるお祝いのことばの代読、小川俊之名古屋市会議員の祝辞と続いた。そして

久しくぶりに再会した同級生たちの成長に驚きを感じている声もあつた。

10時30分、大森北学区

の伊藤均区政協力委員長

の開式の言葉で式典が始

まった。今年の新成人は

「はたちの灯」では四

十人で、大森北の

3学区合計で197名、うち

は41名であつた。

大森学区は65名、出席者

は合計で142名、大森学区

森郷祭」の見学や、八竜

子ども実行委員の活躍

イベントの準備には、多くのメニューを用意した。実行委員は「大

愛着を育み、地域全体のイメージアップを図ることである。



万華鏡作りは大人気



50名ほども来場したように感じられたという。地域全体が一体となつて盛り上がり始めたことが

湿地を含む大森地区の探索を行い、その成果をパネル展示として発表した。パネルには、地域の店舗紹介や地元の歴史も盛り込まれている。店舗紹介では「どうしてこの店ができるのか」「店のアピールポイント」「みんなへのひとこと」など、実際に役立つ情報が満載となっていた。

多彩な体験型ブース

体育館内には、煎茶体験、防災ワークショップ、万華鏡作り、段ボールお絵描きなどの体験型ブースも多数設置された。煎茶体験では、子どもたちが慣れない手つきで真剣に急須を扱う姿が印象的

ステージ

屋外でのイベント

ステージでは地元住民による棒の手や祭囃子（天王祭）に加え、子どもたちによるダンス、日本舞踊も披露された。

イベントの締めくくり

イベントは14時に終了となつたが、名残を惜しむ声が多く、大盛況裏に幕を閉じた。

取材担当者によれば、500名ほども来場したよ

うに感じられた。地域全体が実行委員として関わ

り、多くのメニューを用意した。実行委員は「大

森郷祭」の見学や、八竜



実行委員の発表

もりやま魅力もりもどりDAY 地域をつなぐ子どもたちの挑戦

ではミニ地震体験が行われ、災害への備えの重要性を実際に学べる内容となっていた。万華鏡作りには長い列ができ、

子どもも大人も揃って楽しんだ。場内の各ブースを回るスタンプラリーもあり、子どもたちはラリーで完成した缶バッジを

ス ではミニ地震体験が行われ、災害への備えの重要性を実際に学べる内容となっていた。万華鏡作りには長い列ができ、

子どもも大人も揃って楽しんだ。場内の各ブースを回るスタンプラリーもあり、子どもたちはラリーで完成した缶バッジを

ス ではミニ地震体験が行われ、災害への備えの重要性を実際に学べる内容となっていた。万華鏡作りには長い列ができ、

子どもも大人も揃って楽しんだ。場内の各ブースを回るスタンプラリーもあり、子どもたちはラリーで完成した缶バッジを

屋外では「守山探検隊」とともに大森地区を巡る散策イベントが実施され、参加者たちは街歩きを満喫した。

さらに、校庭ではトランポリンや凧揚げ、紙飛行機作りといった遊びのコーナーも盛況で、特にトランポリンは人気で、

二ティセンターハウスで実施されていたが、そこで建て替えのため大森コミセンに会場を移して実施された。

午前10時に厄歳メンバーのほかに、同級生の女性（「女子会」）と呼ばれていたや近隣の子どもたちなどが続々と集まり、会場は大いに活気づいた。

コミセン内では厄歳と女子会の面々が協力して餅が振る舞われ、「アツアツ」と言いながら頬張っていた。

完成した餅は翌日、樽御輿に飾られ、年明けに合わせて八劍神社へ奉納された。

力を入れて杵をふるう

八剣神社奉納鏡餅の餅つき、賑やかに開催

500名ほども来場したよ

うに感じられた。地域全体が実行委員として関わ

り、多くのメニューを用意した。実行委員は「大

森郷祭」の見学や、八竜



鏡餅ものせて樽御輿の出発



美和ロック代行店
鍵・錠・分解・修理交換致します。
やつるぎ金物
☎(052)798-0210
守山区八剣一丁目1406番地

セレモニーホール
Ceremony Hall
紫雲殿 守山離宮
名古屋市守山区八剣2-914
📞 052-798-4401

おもり

大森学区「自然散策の会」 八竜緑地散策とバードコール作り

前日の雨もすっかり上がり晴天となつた当日、集合場所の壇ノ浦公園には約60人の参加者が集まつた。そして9時30分に出発、守山環境事業所の脇から八竜湿地に入った。ここで「水源の森と八竜湿地を守る会」のメンバーと合流、普段は

毎年11月3日の文化の日に開催されている大森学区の「自然散策の会」、今年は大森の自然散策で、八竜緑地に行くこととなつた。



バードコール作り

八竜緑地はアカマツ林とコナラ林を中心とした樹林で、湿地とため池（新池）があり、名古屋市の特別緑地保全地区に指定されてい

る。前日の雨もすっかり上がり晴天となつた当日、集合場所の壇ノ浦公園には約60人の参加者が集まつた。そして9時30分に出発、守山環境事業所の脇から八竜湿地に入った。ここで「水源の森と八竜湿地を守る会」のメンバーと合流、普段は

毎年11月3日の文化の日に開催される大森学区の「自然散策の会」、今年は大森の自然散策で、八竜緑地に行くこととなつた。危惧種のマメナシも小さな実を枝いっぱい付けていた。その後、急な坂道を少し登るとゴールの八龍神社である。小さな祠に参拝して散策は終了。

散策後は、大森コミセンに集つて「バードコール」作りに挑戦。小さな木片にドリルでネジ穴を開け、そこにボルトを差し込むと

きあがる。そのボルトを左右にねじると小鳥のさえずりのような音が出る。子どもから大人まで、みんな一生懸命に作り上げ、その可愛い「鳴き声」を楽しんだ。

自然を肌に感じ、また環境保護の重要性も再認識した

10月27日、大森コミュニティセンターで「第11回大森コミセンまつり」が開催され、250名を超える来場者で賑わつた。

一階の会議室には、コミセンでの講座に参加している地

域の皆さんによる書道作品や絵画、クラフトなどがところ

狭じと展示され、来場者の目を楽しませている。その横に

は「バルーンアート」のコーナーが設けられ、子どもたち

が集まり、風船でいろいろな形を作つて楽しんでいる。た

まに風船が弾け「パン」という音が響き渡ると、子どもたちは驚いて耳をふさいでいた。

2階へ上がる階段の踊り場には、「写真同好会」の作品と中学生・小学生作成のあいさつ運動のポスターが掲げられていた。

2階の舞台発表では、「杉村カラオケ」、「やよいフオーレクダンス」、

令和6年度医療救護所設置訓練が、10月5日午後2時から大森中学校格

技場で行われた。この訓練は、南海トラフ巨大地震を想定した大規模な災害が発生した場合、守山区内で起きた人的・物的被害に備えることを目的としている。

守山区医師会が主催し、名古屋市と協定に基づき実施された。

訓練は、守山区医師会のほかに、同歯科医師会や薬剤師会、名古屋市立大学医学部東部医療センターそして守山消防署、守山環境事業所、守山区役所、守山保健センターなど地元の8機関が参加して行われた。大森学区自治会と天子田学区自治会からも数名が参加した。

内容は、医療救護所の具体的な設営訓練だけでなく、救護所に備えるべき

備品や品物の説明、トイレ設置、地下式給水栓の確認など、多岐にわたりるものであった。

参加者は、災害時に大森中学

校格技場と中学校近くのどんぐり薬局に設置され

た医療救護所に、薬剤や物資が優先的・中心的に配備される仕組みを学び、

災害時の医療対応について実践的な知識を深めた。

(*)トリアージとは、災害時などの緊急事態において、傷病者の重症度に

より治療の優先順位を決めること。



八竜湿地散策

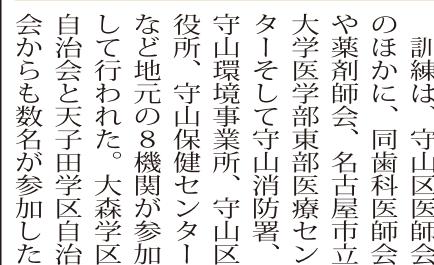
大森コミセンまつり 作品展と舞台発表、縁日の雰囲気も



オカリナ演奏

展示作品に見入る
右はバルーンアート

みたらし団子は大人気!



大森中学校にある防災倉庫



応急搬送訓練

簡易トイレの設置

南海トラフ地震想定の医療救護所訓練

内容は、医療救護所の具

体的

な設営訓練だけでな

く、救護所に備えるべき

備品

や品物

の説明、トリ

アージ(*), 模擬診察、

応急搬送訓練、備蓄薬剤

の確認、口腔ケア、仮設

トイレ設置、地下式給水

栓の確認など、多岐にわ

たるものであった。

参加

者は、災害時に大森中

学校格技場と中学校近くの

どんぐり薬局に設置され

た医療救護所に、薬剤や

物資が優先的・中心的に

配備される仕組みを学び、

災害時の医療対応につい

て実践的な知識を深めた。

(*)トリアージとは、災

害時などの緊急事態にお

いて、傷病者の重症度に

より治療の優先順位を決

めること。

DUSKIN®
喜びのタネをまこう
プロのおそじ
ServiceMASTER®
家事の代行
merry maids®

安心と笑顔でさわやかな暮らしをサポート
ダスキン守山
名古屋市守山区大森2丁目104
◎清掃・レンタル商品の事なら! 見積無料
TEL 0120-032384
http://nttbj.itp.ne.jp/0527982238/

車の総合病院

車検・修理・钣金・販売

民間車検工場
(有) 美鈴自動車工場
大森2丁目102番地 TEL798-1451
●国内全メーカー対応 お気軽にお相談ください



12月8日「大森商店街元気まつり」が白晴公園で開催され、多くの人々で賑わった。寒空の下、午前9時30分から始まったイベントでは、恒例のお楽しみ抽選会が大人気。一等のフルーツ盛り合わせなどの景品を狙つて、ガラガラを回す眼は真剣そのものだった。



楽しむ光景が広がった。中でも大森厄年会の豚汁は寒さを和らげる一杯として好評を得ていた。締めくくりはダンスカンパニーの子どもたちの大歓声の中、閉幕となつた。地域の交流と笑顔が溢れる一日となつた。

親子で遊び 親子で学ぶ

11月20日、大森会館で大森学区福祉推進協議会主催の「親子で遊ぼう」イベントが開催され、未就学児の親子10組が参加した。

会場には10種類のおもちゃが

大森保育園の保母さんたちを動かしての手遊びは子どもも母親も一緒に楽しめた。また、守山保健センター歯科衛

並び、子どもたちはハイで寄つていつたりして気に入つたおもちゃを見つけていた。

ハイで寄つていつたりして気に入つたおもちゃを見つけていた。

ハイで寄つていつたりして気に入つたおもちゃを見つけていた。

ハイで寄つていつたりして気に入つたおもちゃを見つけていた。

ハイで寄つていつたりして気に入つたおもちゃを見つけていた。



12月18日大森会館で大森学区福祉推進協議会が主催する「子育てサロン」が開催され、親子10組ほどが参加した。大森保育園の支援もあつて、紙芝居や親子体操で盛り上がつた後、子どもたちは気に入つたおもちゃで遊んだり、サンタクロース衣装を着ての記念撮影を楽しんだ。本物(?)のサンタさんも登場し、松ぼっくりのミニツリー作りキットをプレゼントされた。さらに、



暗闇に浮かぶクリスマスツリー

12月2日 金城学院大学

児童委員による地元作家の絵本の読み聞かせも行われ、子どもたちは話題になつて楽しめた。また、最後に、子どもの足形で作つた絵が記念として贈られ、親子にとって楽しい思い出の1日となつた。

児童委員による地元作家の絵本の読み聞かせも行われ、子どもたちは話題になつて楽しめた。また、最後に、子どもの足形で作つた絵が記念として贈られ、親子にとって楽しい思い出の1日となつた。



手形足形の色紙作りなどを体験した後、みんなで童謡を歌い、クリスマスの会は終了となつた。

手形足形の色紙作りなどを体験した後、みんなで童謡を歌い、クリスマスの会は終了となつた。





出発式と行列のスタート

午前8時20分、雲一つない青空の下、紋付羽織や袴など伝統的な装束を身にまとった祭りの参加者たちが大森小学校校庭に集合し、厳かに出発式がとり行われた。八剣神社の富田克俊宮司によるお祓いが済み、無事に式が終了すると、幟半（しはん）持ち、毛槍持ちを先頭に、いよいよ行列の出発である。笠脱（かさぬぎ）、杖付、鉄炮隊、棒の手隊、馬隊の順に並んだ行列は、人数も多く最後の馬隊が動き出すまでにもかなりの時間がかかる。西嶋・中嶋・東嶋・新田嶋・向嶋の5嶋から出された5頭の馬は、それぞれに鮮やかな3色の馬簾（ばれん）を乗せて華やかさを演出している。



雨池の坂を下る行列

小学校を出た行列は、「ホッサイ、エッサイ」の掛け声とともに、雨池公園～新田嶋宿～大森橋～向嶋宿～下市場公園（昼食・休憩）～大森橋～西嶋宿～中嶋宿と巡り、ゴールは八剣神社である。奇抜な衣装



特集 大森郷祭 豪華絢爛な時代絵巻

10月20日、名古屋市指定無形文化財である大森郷祭（5年に一度開催）が盛大に催行され、400名を超える大行列が大森地域を練り歩き、伝統と文化が色鮮やかに表現された。

を身にまとった中割が、掛け声を掛けながら行列の中を動き回り、観客の笑いを誘いながら進行のスピードをコントロールするとともに、隊列の前後の間隔が空かないように気を配る。

沿道には多くの見物客が集まり、カメラやスマートフォンで盛んに写真を撮っている。



火縄銃の発砲と棒の手演武

行列の途中では、雨池公園や矢田川河川敷など7カ所で鉄砲隊による火縄銃の発砲が行われ、迫力満点の音が周囲に轟いた。棒の手隊は大森北小学校や各嶋の宿など8カ所で演武を披露し、観客の拍手喝采とともに、多くの花（※）が宙を舞った。

（※花：小さな祝儀袋などに入れた心付け）



駆け馬と笑いのシーン

矢田川の堤防側道等7ヶ所で馬が勇壮に駆けた。大森中学校の南と北の道路では、「西嶋いくぞ！」の掛け声とともに、まだ模様の馬が馬簾を揺らして疾走。見物人たちはその迫力に釘付けとなった。一方、鼻面押さえ役たちが掛け声とともに走り出そうとするも、我関せずと動かず、立ち止まつたままといった馬もあり、観客の笑いを誘った。また、馬のお面をつけた男がリヤカーを引いた衛生係も馬の後を走り、馬の落とし物（糞）の後始末に精を出した。



八剣神社での奉納行事

午後1時30分頃、行列はゴールの八剣神社に到着し、長い階段を「ホッサイ、エッサイ」の声を出し頑張って登りきった。馬隊は西参道を登って拝殿前に到着すると右に3回まわって、いわゆるお馬塔（おまんと）を神社に奉納した。



棒の手隊は餅投げ台前の広場で演武を奉納した。神社前の道路では、鉄砲隊の最後の発砲が近所に響き渡った。

拝殿前の特設舞台では巫女による宮神楽の舞が行われ、その古式ゆかしい姿に見物人が見入っていた。



祭りの最後を飾るのは、厄歳の若衆による餅投げである。餅投げ台の前には老若男女がところ狭しと集まり、たくさんに投げられた餅を受けたり拾ったりと大いに盛上がって祭りは幕を閉じた。



※大森郷祭については、令和6年6月発行「おおもり」144号の「大森あれこれ」でも特集しました。是非ご参照ください。

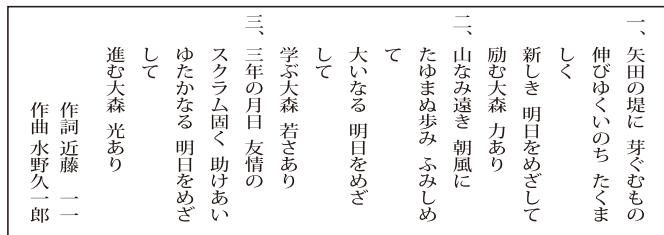
名古屋市立大森中学校

名古屋市立大森中学校は今年度創立50周年を迎えました。そこで、今回は大森中学校を特集することとしました。それでは、その歩みを年代順にたどっていきましょう。

- 1975年(昭和50)4月 前年に名古屋市立守山東中学校の分校として設立された中学校が、名古屋市立大森中学校として独立。当初は17学級696名でのスタート。

※校名の由来は、当時の通学区域の地名である「大森」の「大」と、森孝新田の「森」をとったとのことで、地域社会との密接な連携の中で発展することを願う意味が込められているそうです。

- 1976年(昭和51)11月 校歌「大いなる明日を」を制定。



- 1978年(昭和53) 緑化モデル校として緑化を推進。

- 1979年(昭和54) 名古屋市教育委員会より学校保健優良校として表彰を受ける。

- 1980年(昭和55)3月

開校5周年記念式典挙行。併せて記念碑「大いなる明日を」(筆:荻野功氏)の除幕。



- 1980年(昭和55)8月 森孝新田に分校校舎完成。

- 1981年(昭和56)4月 上記分校が名古屋市立森孝中学校として分離独立。

■ 1982年(昭和57)4月 特別支援学級を開設。

※当時は10組という名称でしたが、現在は「つばさ組」となっています。

■ 1984年(昭和59) 創立10周年記念式典挙行。

■ 1986年(昭和61) 名古屋市市教育委員会より「体力づくり実践校」の委託を受ける。

■ 1987年(昭和62) 格闘場記念碑「心技体」除幕。

■ 1990年(平2) コンピュータ教室新設。

■ 1994年(平6)11月 創立20年記念式典挙行。

■ 1996年(平8) ランチルーム改造工事が完了し、スクールランチ開始。

■ 1999年(平11) 名古屋市市教育委員会より「新世纪学校づくり推進事業」の委託を受ける。

■ 2000年(平12) 校内テレビ放送スタジオ完成。コミュニティルーム完成。

■ 2003年(平15) 文部科学省「学力向上フロンティア事業」の委託を受ける。

■ 2004年(平16) 創立30周年記念式典挙行。

■ 2014年(平26) 創立40周年記念式典挙行。

■ 2023年(令和5)4月 新入生から制服をブレザーに変更。

■ 2024年(令和6)11月 創立50周年記念式典を、金城学院大学アニー・ランドルフ記念講堂で挙行。式典後に文化発表会と芸術鑑賞会(セントラル愛知交響楽団による演奏会)を開催。

※現在、授業では一人一台のタブレットを使用し、各教室・体育館にはエアコンが完備されています。

※現在の通学区域は大森小学校、大森北小学校、天子田小学校の3学区で、16学級 生徒数は528名です。(令和6年6月)

なお、この文書は、大森中学校から提供していただいた資料及び創立50周年記念式典における加藤丈博校長の式辞を参考にして、広報紙「おおもり」の編集委員が取りまとめたものです。

地域への貢献に感謝

佐々木志保
(大森消防団員新屋成夫夫人)

功労消防団員家族
警察関係
守山警察署感謝状
梅本孝也(大森学区区政協力委員長)
清水(大森学区自治会会長)

守山消防署感謝状
大森学区防犯安全パトロール隊
大森学区子ども安全パトロール隊
大森学区青バッテ隊

守山警察署感謝状
大森学区災防安心まちづくり委員会
守山警察署感謝状
梅本孝也(大森学区区政協力委員長)

守山消防署感謝状
大森学区防犯安全パトロール隊
大森学区子ども安全パトロール隊
大森学区青バッテ隊

河村たかし名古屋市長(当時)から感謝状を受ける寺田正子さん

訂正して、お詫びいたします

前号(145号)の大森天王祭の記述の中にも誤った記述がありました

訂正箇所: 3ページ1段目最終行から2段目3行

誤: 「八剣神の納廟前にお披露目となる」

訂正: 「八剣神の納廟前にお披露目となる」

前の3行に移されておりました

このように訂正いたします。

訂正箇所: 3ページ1段目最終行から2段目3行

誤: 「八剣神の納廟前にお披露目となる」

訂正: 「八剣神の納廟前にお披露目となる」

このように訂正いたします。

訂正箇所: 3ページ1段目最終行から2段目3行